

} の弱体化  
宗教的情熱の冷却

◇ 教皇権の衰退をめぐる3つの事件…

○

• をめぐるフランス王 と  
ローマ教皇 の対立  
→ ボニファティウス8世をフランスに連行  
… 事件

○

• が教皇庁をフランスの に移し、  
以後約70年間フランス王が教皇に干渉を続ける

○

( )  
• にも教皇がたてられ、 の教皇と の  
教皇が対立  
← 権力争いをする教会への批判増加  
… 教会は や を強化して弾圧

◇ 教会革新運動

• ( )  
教皇、教会批判、聖書の英訳を行う

• ( )  
ウィクリフの説に共鳴、教会の世俗化を批判

◇

• の解決（ローマを正統とする）  
• … ベーメンでは抗議の おきる



#### 教皇権の衰退

- ◆十字軍の影響のもうひとつは教皇権の衰退です。教皇が言いだしっぺだった十字軍が失敗を続け、教皇の説得力がなくなってきたことと、教会が金儲けや権力争いに走り、人々の心が離れたからです。

#### ◇アナーニ事件

- ◆13世紀の教皇、①\_\_\_\_\_は教会に課税しようとしたフランス王、②\_\_\_\_\_と対

#### ◇ウィクリフ・フスの活動とコンスタンツの公会議

- ◆教皇の権威は完全に失われましたが、教会がその建て直しにやったことは異端審問や魔女裁判・・・仲間はずれを作り出し、それをたたくというものです。それでは建て直しになりませんよね。イギリスの⑧\_\_\_\_\_やベーメンの⑨\_\_\_\_\_は教会を批判しました。
- ◆教会は⑩\_\_\_\_\_によりフスの火あぶりや教会大分裂の終結を決めますが、教皇権の衰退はもうとどまりませんでした。